

## 2023 全日本ロードレース 第2戦！



2023“コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース第44回大会の選考レース（トライアウト）を兼ねた全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 鈴鹿2&4大会。

今回は秋吉のほか、鈴鹿8時間耐久ロードレースへの参戦予定の出口修もトライアウト参戦、スタッフも8耐を意識した体制で臨んだ。

予選前の2日間でテスト走行を行い、マシンのセッティングを細かく調整。秋吉2'07秒台、出口2'10秒台のタイムを出し予選、決勝と期待できる走りを見せた。

**4/22予選：**2グループに分かれて実施、秋吉はAGr、出口はBGrと別れた。秋吉は予選スタートから、5周目まで2'07秒のタイムを出した後、タイヤを交換。6周目でベストタイムとなる2'06秒台を出したが、マシンに異常を感じ予選を終了。出口は秋吉のマシンセッティングを自分に合う様微調整しながらアタックし、9周目でベストタイムの2'09秒台を記録し予選を終了した。予選のベストタイムを採用しレース1は秋吉9番グリット、出口は30番グリットからスタートすることになった。

**4/22レース1：**秋吉は予選で出たマシントラブルに対処した上でサイティングラップでマシンの状況を確認。スタートしたものの1周目で予選と同様のマシン異常が発生、走行できず終了となった。一方、出口は順調な走りを見せていたが、2周目で痛恨の転倒。ピットに戻るがそのまま終了。

8耐トライアウトを兼ねたレース1で、2台とも上位に入れず、今回8耐の出場権を獲得できない悔しい結果となるが、引き続き8耐の出場権を目指す。

**4/23レース2：**前日のマシントラブルを改善し臨んだ23日の朝のフリー走行。秋吉のマシンは、レース1で発生したトラブルに懸命に対処したが、1周目の走行で改善できていない事が分かり、チーム内で原因を探りレース2へ備えた。秋吉はレース1と同様、9番グリットからスタートしたが、予選からのマシントラブルが最後まで改善できず、残念ながら、1周目でピットに戻り、リタイヤとなる。出口は31番グリットからのスタートとなり、ベストラップタイム2'10秒台をマークし、25位でチェッカーを受ける



## 【今回のメカニックサポート】 ホンダドリーム豊中／名古屋南 サービススタッフ2名

今年もホンダドリームジャパンは秋吉選手のチームにレースサポートを実施、第2戦鈴鹿2&4大会ではホンダドリーム豊中、名古屋南のスタッフ2名がサポートで木曜に合流、マシン整備などでも活躍、国内トップカテゴリーのレースに触れ貴重な体験と知識を得た。



## 【第2戦 レース結果】

- ・決勝レース1(14周) 秋吉耕佑選手：DNF 出口修選手：DNF（スポット）
- ・決勝レース2(16周) 秋吉耕佑選手：DNF 出口修選手：25位（スポット）